

# 定期調査報告書の作成手引き

## 建築物

1. 定期調査報告書 (第36号の2様式)
2. 調査結果表 (別記)
3. 調査結果図 (別添1様式)
4. 関係写真 (別添2様式)
5. 定期調査報告概要書 (第36号の3様式)
6. 受付管理票
7. 提出書類の綴り方
8. チェックリスト

## 防火設備

1. 定期検査報告書 (第36号の9様式)
2. 検査結果表 (別記第1号～第4号)
3. 検査結果図 (別添1様式)
4. 関係写真 (別添2様式)
5. 定期検査報告概要書 (第36号の8様式)
6. 受付管理票
7. 提出書類の綴り方
8. チェックリスト

## 参考資料

1. 既存不適合
2. よく見られる指摘事項

# 1 定期調査報告書（第36号の2様式）

第三十六号の二様式（第五条関係）（A4）

定期調査報告書  
（第一面）

・正本副本に両方に押印  
・法人の場合法人印を押印する

建築基準法第12条第1項の規定による定期調査の結果を報告します。この結果は、記載の事項に照して、  
事実と相違ありません。

特定行政庁 様

平成 年 月

報告者氏名



調査者氏名



【1. 所有者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】
- 【ロ. 氏名】
- 【ハ. 郵便番号】
- 【ニ. 住所】
- 【ホ. 電話番号】

代表となる調査員の指名を記入（個人印）  
自署で行う場合は押印を省略可

【2. 管理者】

- 【イ. 氏名のフリガナ】
- 【ロ. 氏名】
- 【ハ. 郵便番号】
- 【ニ. 住所】
- 【ホ. 電話番号】

所有者と管理者が同じ場合、【2. 管理者】欄に「同上」、「所有者と同じ」として記入を省略可複数の場合は別紙に記載

【3. 調査者】

（代表となる調査者）

当該建築物の調査を行ったすべての調査者について記入。3名以上の場合別紙に記入

【イ. 資格】

( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
特定建築物調査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

法人の場合、勤務先について記入。法人でない場合、調査者の住所等を記入

（その他の調査者）

【イ. 資格】

( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
特定建築物調査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【4. 報告対象建築物】

【イ. 所在地】

【ロ. 名称のフリガナ】

【ハ. 名称】

【ニ. 用途】 ← 複合の場合、面積の大きい順

「要是正」の項目がすべて「既存不適格」の場合のみ☑を入れる

【5. 調査による指摘の概要】

【イ. 指摘の内容】  要是正の指摘あり (  既存不適格 )  指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】  有 ( 平成 年 月に改善予定 )  無

【ニ. その他特記事項】

|          |      |
|----------|------|
| ※受付欄     | ※特記欄 |
| 平成 年 月 日 |      |
| 第 号      |      |
| 係員印      |      |

第3面【2. 調査の状況】の【ハ. 改善予定年月】のうち、最も早いものを記入

建築物及びその敷地に関する事項

【1. 敷地の位置】

【イ. 防火地域等】 防火地域 準防火地域  
その他 ( ) 指定なし

法第22条区域、災害危険区域の場合は「その他」に☑し、「法第22条区域」、「災害危険区域」と記入

【ロ. 用途地域】

【2. 建築物及びその敷地の概要】

【イ. 構造】 鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造  
鉄骨造 その他 ( )

【ロ. 階数】 地上 階 地下 階

【ハ. 敷地面積】 m<sup>2</sup>

【ニ. 建築面積】 m<sup>2</sup>

【ホ. 延べ面積】 m<sup>2</sup>

該当する全ての構造に☑を入れる

【3. 階別用途別床面積】

( 用途 ) ( 床面積 )

【イ. 階別用途別】 ( 階 ) ( ) ( m<sup>2</sup> )

上階

最上階から  
記入



( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( 階 ) ( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( 階 ) ( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

【ロ. 用途別】 ( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

( ) ( m<sup>2</sup> )

異種用途区画に関わるものは、必ず面積を分けて記入する

【4. 性能検証法等の適用】

耐火性能検証法 防火区画検証法  
階避難安全検証法 ( 階 ) 全館避難安全検証法  
その他 ( )

|                     |   |   |   |        |   |   |
|---------------------|---|---|---|--------|---|---|
| 【5. 増築、改築、用途変更等の経過】 |   |   |   |        | <p>前回調査時以降(初回調査の場合は、新築時以外)の増築、改築、用途変更、模様替の情報をすべて古い順に記入 ※《注意1》参照</p>   |   |
| 昭和・平成               | 年   | 月 | 日 | 概要 ( ) |   |   |
| 昭和・平成               | 年   | 月 | 日 | 概要 ( ) |   |   |
| 昭和・平成               | 年   | 月 | 日 | 概要 ( ) |   |   |
| 【6. 関連図書の整備状況】      |   |   |   |        | <p>5欄又は7欄に記載のうち、直近の建築確認に関する情報を記入</p>  |   |
| 【イ. 確認に要した図書】       | <input type="checkbox"/> 有 ( <input type="checkbox"/> 各階平面図あり ) |   |   |        |   |   |
| 【ロ. 確認済証】           | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無           |   |   |        | <p>初回の調査の場合は対象外に☑を入れる</p>   |   |
| 交付番号                | 昭和・平成   | 年 | 月 | 日      |   | 第 |
| 交付者                 | <input type="checkbox"/> 建築主事                                   |   |   |        | <p>初回の調査の場合は対象外に☑を入れる</p>   |   |
| 【ハ. 完了検査に要した図書】     | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無           |   |   |        |   |   |
| 【ニ. 検査済証】           | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無           |   |   |        | <p>初回の調査の場合は対象外に☑を入れる</p>   |   |
| 交付番号                | 昭和・平成   | 年 | 月 | 日      |   | 第 |
| 交付者                 | <input type="checkbox"/> 建築主事                                   |   |   |        | <p>初回の調査の場合は対象外に☑を入れる</p>   |   |
| 【ホ. 維持保全に関する準則又は計画】 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無           |   |   |        |   |   |
| 【ヘ. 前回の調査に関する書類の写し】 | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無           |   |   |        | <p>初回の調査の場合は対象外に☑を入れる</p>   |   |
|                     | <input type="checkbox"/> 対象外                                    |   |   |        |   |   |
| 【7. 備考】             |   |   |   |        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新築時の情報を記入</li> <li>・ 前回の調査時より前の増築、改築、用途変更、模様替の情報を記入</li> </ul> <p>※《注意1》参照</p> |   |

《注意1》5～7欄の記入する情報について【共通】

- ・ 建築確認がある工事・・・確認番号・検査済番号、各交付年月日」を記入
- ・ 確認済証のない工事・・・「工事が完了した日」を記入
- 確認時期の確認は既存不適格の判断に必要な情報なので、必ず確認ください。
- 確認年月日等は、確認申請書等を紛失した場合、台帳・建築計画概要書等で調べられることができますので、窓口で概要書の閲覧等により確認をし、記入してください。

今回の調査が終了した年月日を記入。  
この日から3か月以内に報告書を提出

第三面

直前の報告日(受付印の日付け)を記入。初回の報告は、「未実施」に☑

調査等の概要

【1. 調査及び検査の状況】

- 【イ. 今回の調査】 平成 年 月 日実施
- 【ロ. 前回の調査】 実施(平成 年 月 日報告) 未実施
- 【ハ. 建築設備の検査】 実施(平成 年 月 日報告) 未実施
- 【ニ. 昇降機等の検査】 実施(平成 年 月 日報告) 未実施
- 【ホ. 防火設備の検査】 実施(平成 年 月 日報告) 未実施

直前の報告日(受付印の日付け)を記入。報告の対象となっていない場合は、「未実施」に☑

【2. 調査の状況】 ← 調査結果表1について記入

(敷地及び地盤)

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり ( 既存不適格 )
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有(平成 年 月に改善予定) 無

①すべて既存不適格

- イ 例のとおり☑
- ロ 記入不要
- ハ 改善予定を記入

(建築物の外部) ← 調査結果表2について記入

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり ( 既存不適格 )
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有(平成 年 月に改善予定)

指摘なし

②指摘なしの場合

- イ 指摘なし☑
- ロ、ハ 記入不要

(屋上及び屋根) ← 調査結果表3について記入

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり ( 既存不適格 ) 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有(平成 年 月に改善予定) 無

(建築物の内部) ← 調査結果表4について記入

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり ( 既存不適格 ) 指摘なし
- 【ロ. 指摘の概要】 防火扉がくさびで固定されている
- 【ハ. 改善予定の有無】 有(平成 29 年 12 月に改善予定) 無

(避難施設等) ← 調査結果表5について記入

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり ( 既存不適格 )
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有(平成 年 月に改善予定)

③既存不適格以外の要是正がある場合

- イ 例のとおり☑
- ロ 既存不適格以外の指摘を記入
- ハ 改善予定を記入
  - ・既に改善済の場合、改善が完了した年月
  - ・改善予定の場合、最も早い年月

(その他) ← 調査結果表6について記入

- 【イ. 指摘の内容】 要是正の指摘あり ( 既存不適格 )
- 【ロ. 指摘の概要】
- 【ハ. 改善予定の有無】 有(平成 年 月に改善予定) 無

【3. 石綿を添加した建築材料の調査状況】 (該当する室)

- 【イ. 該当建築材料の有無】 有(飛散防止措置無) ( )
- 有(飛散防止措置有) ( )
- 無
- 【ロ. 措置予定の有無】 有(平成 年 月に改善予定) 無

旧耐震基準の場合  
(S56.5.31以前)

新耐震基準の場合  
(S56.6.1以降)

【4. 耐震診断及び耐震改修の調査状況】

【イ. 耐震診断の実施の有無】有 無 (平成 年 月に実施予定)

対象外

【ロ. 耐震改修の実施の有無】有 無 (平成 年 月に実施予定)

対象外

【5. 建築物等に係る不具合等の状況】

【イ. 不具合等】 有 無

【ロ. 不具合等の記録】 有 無

【ハ. 改善の状況】 実施済 改善予定 (平成 年 月に改善予定) 予定なし

前回調査時以降に把握した不具合だけを記入  
➤ 不具合とは、内装材の脱落等のこと。要是  
正の指摘は含まないので注意

【6. 備考】

## 不具合がない場合、第四面は不要

(第四面)

建築物等に係る不具合等の状況

| 不具合等を把握した年月            | 不具合等の概要 | 考えられる原因 | 改善（予定）年月 | 改善措置の概要等 |
|------------------------|---------|---------|----------|----------|
|                        |         |         |          |          |
| 調査結果表の要是正の指摘は不具合に含まれない |         |         |          |          |
|                        |         |         |          |          |
|                        |         |         |          |          |
|                        |         |         |          |          |



(注意)

注意事項についての書類は添付不要

### 1. 各面共通関係

- ① ※印のある欄は記入しないでください。
- ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。

### 2. 第一面関係

- ① 報告者又は調査者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- ② 調査者が2人以上のときは、代表となる調査者を調査者氏名欄に記入してください。
- ③ 1欄及び2欄は、所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。
- ④ 3欄は、代表となる調査者及び当該建築物の調査を行ったすべての調査者について記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その他の調査者欄は削除して構いません。
- ⑤ 3欄の「イ」は、調査者の有する資格について記入してください。調査者が特定建築物調査員である場合は、特定建築物調査員資格者証の交付番号を「特定建築物調査員」の番号欄に記入してください。
- ⑥ 3欄の「ニ」は、調査者が法人に勤務している場合は、調査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所のときは、事務所登録番号を併せて記入してください。
- ⑦ 3欄の「ホ」から「ト」までは、調査者が法人に勤務している場合は、調査者の勤務先について記入し、調査者が法人に勤務していない場合は、調査者の住所について記入してください。
- ⑧ 第三面の2欄のいずれかの「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、5欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、それ以外のときは、「指摘なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第三面の2欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたものの全てにおいて、「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せて5欄の「イ」の「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑨ 5欄の「ロ」は、指摘された事項のうち特に報告すべき事項があれば記入してください。
- ⑩ 5欄の「ハ」は、第三面の2欄のいずれかの「ハ」において改善予定があるとしているときは「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、第三面の2欄の「ハ」に記入された改善予定年月のうち最も早いものを併せて記入してください。
- ⑪ 5欄の「ニ」は、指摘された事項以外に特に報告すべき事項があれば記入してください。

### 3. 第二面関係

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 敷地が複数の地域にまたがるときは、1欄の「イ」は、該当するすべてのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。建築基準法第22条第1項の規定により地域指定がされている場合、災害危険区域に指定されている場合その他建築基準法又はそれに基づく命令により地域等の指定がされている場合は、「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せてその内容を記入して下さい。
- ③ 1欄の「ロ」は、該当する用途地域名を全て記入してください。
- ④ 2欄の「イ」は、該当する全てのチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、その他の構造からなる場合には、「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて具体的な構造

# 2 調査結果表

別記 (A4)

調査結果表

| 番号           | 調査項目                 | 調査結果   |       |       | 担当調査者番号 |
|--------------|----------------------|--|-------|-------|---------|
|              |                      | 指摘なし   | 要是正   | 既存不適格 |         |
| 当該調査に関与した調査者 |                      | 氏名   | 調査者番号 |       |         |
|              |                      | 代表となる調査者   |       |       |         |
|              |                      | その他の調査者  |       |       |         |
| 1            | 敷地及び地盤               |  |       |       |         |
| (1)          | 地盤                   | 地盤沈下等による不陸、傾斜等   |       |       |         |
| (2)          | 敷地                   | 敷地内の排水の状況  |       |       |         |
| (3)          | 敷地内の通路               | 敷地内の通路の確保の状況   |       |       |         |
| (4)          |                      | 有効幅員の確保の状況   |       |       |         |
| (5)          |                      | 敷地内の通路の支障物の状況  |       |       |         |
| (6)          | 塀                    | 組積造の塀又は補強コンクリー<br>震対策の状況                                       |       |       |         |
| (7)          |                      | 組積造の塀又は補強コンクリー<br>ブロック造の塀等の劣<br>化及び損傷の状況                       |       |       |         |
| (8)          | 擁壁                   | 擁壁の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
| (9)          |                      | 擁壁の本抜きパイプの維持保全の状況  |       |       |         |
| 2            | 建築物の外壁               |  |       |       |         |
| (1)          | 基礎                   | 基礎の沈下等の状況  |       |       |         |
| (2)          |                      | 基礎の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
| (3)          | 土台 (木造に限る。)          | 土台の沈下等の状況  |       |       |         |
| (4)          |                      | 土台の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
| (5)          | 外壁 躯体等               | 外壁、軒裏及び外壁の開口部で延焼のおそれのある部分<br>の防火対策の状況                          |       |       |         |
| (6)          |                      | 木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況  |       |       |         |
| (7)          |                      | 組積造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
| (8)          |                      | 補強コンクリートブロック造の外壁躯体の劣化及び損傷<br>の状況                               |       |       |         |
| (9)          |                      | 鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
| (10)         |                      | 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁<br>躯体の劣化及び損傷の状況                      |       |       |         |
| (11)         | 外装仕上げ材等              | タイル、石貼り等 (乾式工法によるものを除く。)、モ<br>ルタル等の劣化及び損傷の状況                   |       |       |         |
| (12)         |                      | 乾式工法によるタイル、石貼り等の劣化及び損傷の状況                                      |       |       |         |
| (13)         |                      | 金属系パネル (横壁を含む。) の劣化及び損傷の状況                                     |       |       |         |
| (14)         |                      | コンクリート系パネル (横壁を含む。) の劣化及び損傷<br>の状況                             |       |       |         |
| (15)         |                      | サッシ等の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
| (16)         |                      | はめ殺し窓のガラスの固定の状況  |       |       |         |
| (17)         | 外壁に緊結された広告板、空調室外機等   | 機器本体の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
| (18)         |                      | 支持部分等の劣化及び損傷の状況  |       |       |         |
| 3            | 屋上及び屋根               |  |       |       |         |
| (1)          | 屋上面                  | 屋上面の劣化及び損傷の状況  |       |       |         |
| (2)          | 屋上周り (屋上面を除く。)       | パラベットの立上り面の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
| (3)          |                      | 笠木モルタル等の劣化及び損傷の状況  |       |       |         |
| (4)          |                      | 金属笠木の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
| (5)          |                      | 排水溝 (ドレーンを含む。) の劣化及び損傷の状況                                      |       |       |         |
| (6)          | 屋根 (屋上面を除く。)         | 屋根の防火対策の状況   |       |       |         |
| (7)          |                      | 屋根の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
| (8)          | 機器及び工作物 (冷却等設備、広告塔等) | 機器、工作物本体及び接合部の劣化及び損傷の状況  |       |       |         |
| (9)          |                      | 支持部分等の劣化及び損傷の状況  |       |       |         |
| 4            | 建築物の内部               |  |       |       |         |
| (1)          | 防火区画                 | 令第112条第9項に規定する区画の  |       |       |         |
| (2)          |                      | 令第112条第1項から第3項まで又  |       |       |         |
| (3)          |                      | 令第112条第12項又は第13項に規定  |       |       |         |
| (4)          |                      | 防火区画の外周部   |       |       |         |
| (5)          |                      |  |       |       |         |
| (6)          | 壁の室内に面する部分           | 組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状<br>況                                |       |       |         |
| (7)          |                      | 組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の<br>状況                                |       |       |         |
| (8)          |                      | 補強コンクリートブロック造の壁の室内に面する部分の<br>躯体の劣化及び損傷の状況                      |       |       |         |
| (9)          |                      | 鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の<br>状況                                |       |       |         |
| (10)         |                      | 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の壁の<br>室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況             |       |       |         |
| (11)         |                      | 1時間準耐火基準に適合する準耐火構造の<br>壁、耐火構造の壁又は準耐火構造の壁 (防<br>火区画を構成する壁等に限る。) |       |       |         |
| (12)         |                      | 耐火性能等の確保の状況  |       |       |         |
| (13)         |                      | 部材の劣化及び損傷の状況   |       |       |         |
|              |                      | 鉄骨の耐火被覆の劣化及び損傷の状況  |       |       |         |

該当しない調査項目がある場合は、対  
象外として「番号」欄から「担当調査者番  
号」欄まで取消線で抹消してください

既存不適格であ  
る場合は「要是正」  
と「既存不適格」に  
「○」を記入

外装仕上げはコンク  
リート打放し仕上げ  
等は対象外

1(11)外壁でタイル  
貼り、モルタル仕上  
げ、に該当する場合  
は、打診調査が必  
要

防火区画  
4 (1)・・・縦穴区画  
4 (2)・・・面積区画、高層区画  
4 (3)・・・異種用途区画

4(1)防火区画で、  
昇降機の乗場扉に  
遮煙性能がない場  
合は、既存不適格  
に該当

|      |                                  |  |  |  |  |  |
|------|----------------------------------|--|--|--|--|--|
| (15) | 令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁           | 令第114条に規定する界壁、間仕切壁及び隔壁の状況                            |  |  |  |  |
| (16) | 令第128条の5各項に規定する建築物の壁室内に面する部分     | 4 (16) 内装制限  |  |  |  |  |
| (17) | 床                                | 躯体等  | 木造の床躯体の劣化及び損傷の状況                               |  |  |  |
| (18) |                                  |  | 鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況                              |  |  |  |
| (19) |                                  |  | 鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況           |  |  |  |
| (20) |                                  | 1時間準耐火基準に適合する準耐火構造の床、耐火構造の床又は準耐火構造の床（防火区画を構成する床に限る。） | 準耐火性能等の確保の状況                                   |  |  |  |
| (21) |                                  |  | 部材の劣化及び損傷の状況                                   |  |  |  |
| (22) |                                  |  | 給水管、配電管その他の管又は風道の区画貫通部の充填                      |  |  |  |
| (23) | 天井                               | 令第128条の5各項に規定する建築物の天井の室内に面する部分                       | 特定天井 4 (25)                                    |  |  |  |
| (24) |                                  |  | 200㎡を超え、かつ天井高さ6m                               |  |  |  |
| (25) |                                  |  | を超える特定天井がある場合記入、ない場合は取消線                       |  |  |  |
| (26) | 防火設備（防火扉、防火シャッターその他これに類するものに限る。） |  |  |  |  |  |
| (27) |                                  |  |  |  |  |  |
| (28) |                                  |  | 昭和48年建設省告示第2563号第1第1号ロに規定する基準への適合の状況           |  |  |  |
| (29) |                                  |  | 防火扉の開放方向                                       |  |  |  |
| (30) |                                  |  | 常閉防火設備の本体と枠の劣化及び損傷の状況                          |  |  |  |
| (31) |                                  |  | 常閉防火設備の閉鎖又は作動の状況                               |  |  |  |
| (32) |                                  |  | 常閉防火設備の閉鎖又は作動の障害となる物品の放置の                      |  |  |  |
| (33) |                                  |  | 常閉防火扉の固定の状況                                    |  |  |  |
| (34) | 照明器具、懸垂物等                        |  | 照明器具、懸垂物等の落下防止対策の状況                            |  |  |  |
| (35) |                                  |  | 防火設備の閉鎖の障害となる照明器具、懸垂物等の状況                      |  |  |  |
| (36) | 居室の採光及び換気                        |  | 採光のための開口部の面積の確保の状況                             |  |  |  |
| (37) |                                  |  | 採光の妨げとなる物品の放置の状況                               |  |  |  |
| (38) |                                  |  | 換気のための開口部の面積の確保の状況                             |  |  |  |
| (39) |                                  |  | 換気設備の設置の状況                                     |  |  |  |
| (40) |                                  |  | 換気設備の作動の状況                                     |  |  |  |
| (41) |                                  |  | 換気の妨げとなる物品の放置の状況                               |  |  |  |
| (42) | 石綿等を添加した建築材料                     |  | 吹付け石綿及び吹付けロックウールでその含有する石綿                      |  |  |  |
| (43) |                                  |  | 石綿等 4 (42)                                     |  |  |  |
| (44) |                                  |  | ・ない場合は取消線                                      |  |  |  |
| (45) |                                  |  | ・図面等の判断で石綿含有吹付建材使用の恐れがあり、分析調査を行っていない場合も「要是正」記入 |  |  |  |
| 5    | 避難施設等                            |  |  |  |  |  |
| (1)  | 令第120条第2項に規定する通路                 |  |  |  |  |  |
| (2)  | 廊下                               |  | 幅員の確保の状況                                       |  |  |  |
| (3)  |                                  |  | 物品の放置の状況                                       |  |  |  |
| (4)  | 出入口                              |  | 出入口の確保の状況                                      |  |  |  |
| (5)  |                                  |  | 物品の放置の状況                                       |  |  |  |
| (6)  | 屋上広場                             |  | 屋上広場の確保の状況                                     |  |  |  |
| (7)  | 避難上有効なバルコニー                      |  | 避難上有効なバルコニーの確保の状況                              |  |  |  |
| (8)  |                                  |  | 手すり等の劣化及び損傷の状況                                 |  |  |  |
| (9)  |                                  |  | 物品の放置の状況                                       |  |  |  |
| (10) |                                  |  | 避難器具の操作性の確保の状況                                 |  |  |  |
| (11) | 階段                               | 階段   | 直通階段の設置の状況                                     |  |  |  |
| (12) |                                  |  | 幅員の確保の状況                                       |  |  |  |
| (13) |                                  |  | 手すりの設置の状況                                      |  |  |  |
| (14) |                                  |  | 物品の放置の状況                                       |  |  |  |
| (15) |                                  |  | 階段各部の劣化及び損傷の状況                                 |  |  |  |
| (16) |                                  | 屋内に設けられた避難階段   | 階段室の構造の確保の状況                                   |  |  |  |
| (17) |                                  | 屋外に設けられた避難階段   | 屋内と階段との間の防火区画の確保の状況                            |  |  |  |
| (18) |                                  |  | 開放性の確保の状況                                      |  |  |  |
| (19) |                                  | 特別避難階段   | バルコニー又は付室の構造及び面積の確保の状況                         |  |  |  |
| (20) |                                  |  | 付室等の排煙設備の設置の状況                                 |  |  |  |
| (21) |                                  |  | 付室等の排煙設備の作動の状況                                 |  |  |  |
| (22) |                                  |  | 付室等の外気に向かって開くことができる窓の状況                        |  |  |  |
| (23) |                                  |  |  |  |  |  |
| (24) | 排煙設備等                            | 防煙壁  | 排煙設備 5 (27)                                    |  |  |  |
| (25) |                                  |  | ・自然排煙口のみが設置されている場合も                            |  |  |  |
| (26) |                                  |  | 調査対象   |  |  |  |
| (27) |                                  | 排煙設備   | 排煙設備 5 (28)                                    |  |  |  |
| (28) |                                  |  | ・機械式の排煙設備の調査結果を記入                              |  |  |  |
| (29) |                                  |  |  |  |  |  |
| (30) | その他の設備                           | 非常用の出入口等   |  |  |  |  |
| (31) |                                  |  |  |  |  |  |
| (32) |                                  | 非常用エレベーター  | 乗降ロビーの構造及び面積の確保の状況                             |  |  |  |
| (33) |                                  |  | 乗降ロビー等の排煙設備の設置の状況                              |  |  |  |
| (34) |                                  |  | 乗降ロビー等の排煙設備の作動の状況                              |  |  |  |

|                        |                |   |                                    |          |  |
|------------------------|----------------|---|------------------------------------|----------|--|
| (36)                   |                | 物品の放置の状況  |                                    |          |  |
| (37)                   |                | 非常用エレベーターの作動の状況   |                                    |          |  |
| (38)                   | 非常用の照明装置       | 非常用の照明装置の設置の状況  |                                    |          |  |
| (39)                   |                | 非常用の照明装置の作動の状況  |                                    |          |  |
| (40)                   |                | 照明の妨げとなる物品の放置の状況  |                                    |          |  |
| <b>6 その他</b>           |                |   |                                    |          |  |
| (1)                    | 等特<br>殊な<br>構造 | 膜構造建築物の膜体、取付部材等   | 膜体及び取付部材の劣化及び損傷の状況                 |          |  |
| (2)                    |                |   | 膜張力及びケーブル張力の状況                     |          |  |
| (3)                    |                | 免震構造建築物の免震層及び免震装置   | 免震装置の劣化及び損傷の状況（免震装置が可視状態にある場合に限る。） |          |  |
| (4)                    |                |   | 上部構造の可動の状況                         |          |  |
| (5)                    |                | 避雷設備  | 避雷針、避雷導線等の劣化及び損傷の状況                |          |  |
| (6)                    | 煙突             | 建築物に設ける煙突   | 煙突本体及び建築物との接合部の劣化及び損傷の状況           |          |  |
| (7)                    |                |   | 付帯金物の劣化及び損傷の状況                     |          |  |
| (8)                    |                | 令第138条第1項第1号に掲げる煙突  | 煙突本体の劣化及び損傷の状況                     |          |  |
| (9)                    |                |   | 付帯金物の劣化及び損傷の状況                     |          |  |
| <b>7 上記以外の調査項目</b>     |                |   |                                    |          |  |
| 7 「上記以外の調査項目」は、原則記入しない |                |   |                                    |          |  |
| <b>特記事項</b>            |                |   |                                    |          |  |
| 番号                     | 調査項目           | 指摘の具体的内容等   | 改善策の具体的内容等                         | 改善（予定）年月 |  |
|                        |                | <p>特記事項には、既存不適格を含め、要是正の項目はすべて記入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存不適格の場合はその旨を「指摘の具体的内容等」に記載</li> <li>・ 改善予定年月は（ ）付けで記入し、すでに改善済の場合は、改善が完了した年月を（ ）なしで記入</li> <li>・ 同じ項目に2以上の指摘がある場合は、どちらも記入する</li> </ul> |                                    |          |  |

(注意)

- ① この書類は、特殊建築物等ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該調査に関与した調査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の2様式第一面3欄に記入した調査者について記入し、「調査者番号」欄に調査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、その他の調査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない調査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当調査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「調査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各調査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「調査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる調査項目について（は）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当調査者番号」欄は、「調査に関与した調査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該建築物の調査を行った調査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 7「上記以外の調査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が調査項目を追加したときに、特定行政庁が追加した調査項目を追加し、⑤から⑧に準じて調査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、7は削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、調査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合であっても特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになった場合は、改善予定年月を記入し、「改善策の具体的内容等」欄に改善策の具体的内容を記入してください。
- ⑫ 配置区
- ⑬ 要是正

- 改善予定年月は、既存不適格の項目以外は、原則、所有者・管理者とあらかじめ協議の上予定を記入してください。
- 即時対応可能なものは、改善済で報告してください。
- 予定の記入がない場合は、提出時に別途改善予定計画書の報告を求められます。



### 3 調査結果図（別添1様式）

図面はA3を折りA4とし、下記の事項を記載してください。

- ① 要是正の指摘があった箇所（既存不適格含む）
- ② 写真を撮影した位置
- ③ 指摘事項（調査結果表の指摘番号を含む）

- 既存図面を複写して使用する場合、鮮明さが損なわれないように注意してください（室名や寸法が読めない、開口部がわからない等不鮮明な場合は差し替えを求めることがあります。）
- 増築や間仕切り変更等の改修を行った場合は、必ず最新の図面としてください。
- 各図面には必ず図面名称を記入
- 平面図はできるだけ1枚に集約してください（平面図を2種類以上に分ける際は、図面名称をわかるように記入する）

別添1様式（A3）

#### 調査結果図

| 番号         | 調査項目             |
|------------|------------------|
| 1          | 敷地及び地盤           |
| (1)        | 地盤               |
| (2)        | 敷地               |
| (3)から(5)   | 敷地内の通路           |
| (6)から(7)   | 塀等               |
| (8)から(9)   | 擁壁               |
| 2          | 建築物の外部           |
| (1)から(2)   | 基礎               |
| (3)から(4)   | 土台（木造に限る。）       |
| (5)から(18)  | 外壁               |
| 3          | 屋上及び屋根           |
| (1)        | 屋上面の状況           |
| (2)から(5)   | 屋上周りの状況（屋上面を除く。） |
| (6)から(7)   | 屋根（屋上面を除く。）      |
| (8)から(9)   | 機器及び工作物（冷却等設備、等） |
| 4          | 建築物の内部           |
| (1)から(5)   | 防火区画             |
| (6)から(16)  | 壁の室内に面する部分       |
| (17)から(22) | 床                |
| (23)から(25) | 天井               |
| (26)から(34) | 防火設備             |
| (35)から(36) | 照明器具、懸垂物等        |
| (37)から(42) | 居室の採光及び換気        |
| (43)から(46) | 石綿等を添加した建築材料     |
| 5          | 避難施設等            |
| (1)        | 令第120条第2項に規定する通路 |
| (2)から(3)   | 廊下               |
| (4)から(5)   | 出入口              |
| (6)        | 屋上広場             |
| (7)から(10)  | 避難上有効なバルコニー      |
| (11)から(23) | 階段               |
| (24)から(29) | 排煙設備等            |
| (30)から(40) | その他の設備等          |
| 6          | その他              |
| (1)から(4)   | 特殊な構造等           |
| (5)        | 避雷設備             |
| (6)から(9)   | 煙突               |
| 7          | 上記以外の調査項目        |
|            |                  |
|            |                  |
|            |                  |
|            |                  |
|            |                  |
|            |                  |
|            |                  |
|            |                  |
|            |                  |
|            |                  |
|            |                  |
|            |                  |

**図面に明記すべき事項**

- 防火設備の位置及び種類（特定かどうか、常時閉鎖、随時閉鎖の区分を明記）
- 昇降機の位置及び種類（EV、小荷物専用昇降機（フロア・テーブルの別）等）を明記する
- 延焼の恐れのある部分の外壁及び軒裏の構造（防火、耐火、準耐火構造等の種類）
- 防火区画の位置

線引きを色で分ける場合や、記号表記する場合は、必ず凡例を記載してください。

注）配置図及び各階平面図を添付し、指摘のあった箇所（特記すべき事項を含む）や撮影した写真の位置等を明記すること。

## 4 関係写真（別添2様式）

既存不適格以外の要是正の指摘箇所の写真を添付する

別添2様式（A4）

### 関係写真

| 部位   | 番号 | 調査項目 | 調査結果  |
|------|----|------|---|
|      |    |      | <input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他 |
| 写真貼付 |    |      | 特記事項  |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |

| 部位   | 番号 | 調査項目 | 調査結果  |
|------|----|------|---|
|      |    |      | <input type="checkbox"/> 要是正 <input type="checkbox"/> その他 |
| 写真貼付 |    |      | 特記事項  |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |
|      |    |      | .....   |

（注意）

- ① この書類は、調査の結果「要是正」かつ「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省

## 5 定期調査報告概要書（第36号の3様式）

- 定期調査報告概要書は、定期調査報告書の内容を転記するため、定期調査報告書を作成後に作成し、同様の内容となるよう転記してください。
- 概要書は閲覧に供しますので、訂正印による修正は行わないでください。

| 第三十六号の三様式（第五条、第六条の三、第十一条の四関係）（A4） |  |                            |                            |
|-----------------------------------|--|----------------------------|----------------------------|
| 定期調査報告概要書                         |  |                            |                            |
| （第一面）                             |  |                            |                            |
| 調査等の概要                            |  |                            |                            |
| 【1. 所有者】                          |  |                            |                            |
| 【イ. 氏名のフリガナ】                      |  |                            |                            |
| 【ロ. 氏名】                           |  |                            |                            |
| 【ハ. 郵便番号】                         |  |                            |                            |
| 【ニ. 住所】                           |  |                            |                            |
| 【2. 管理者】                          |  |                            |                            |
| 【イ. 氏名のフリガナ】                      |  |                            |                            |
| 【ロ. 氏名】                           |  |                            |                            |
| 【ハ. 郵便番号】                         |  |                            |                            |
| 【ニ. 住所】                           |  |                            |                            |
| 【3. 調査者】                          |  |                            |                            |
| （代表となる調査者）                        |  |                            |                            |
| 【イ. 資格】                           |  |                            |                            |
| （ ） 建築士                           |  | （ ） 登録第                    |                            |
| 特定建築物調査員                          |  | 第                          |                            |
| 【ロ. 氏名のフリガナ】                      |  |                            |                            |
| 【ハ. 氏名】                           |  |                            |                            |
| 【ニ. 勤務先】                          |  |                            |                            |
| （ ） 建築士事務所                        |  | （ ） 知事登録第                  |                            |
| 【ホ. 郵便番号】                         |  | 号                          |                            |
| 【ヘ. 所在地】                          |  |                            |                            |
| 【ト. 電話番号】                         |  |                            |                            |
| （その他の調査者）                         |  |                            |                            |
| 【イ. 資格】                           |  |                            |                            |
| （ ） 建築士                           |  | （ ） 登録第                    |                            |
| 特定建築物調査員                          |  | 第                          |                            |
| 【ロ. 氏名のフリガナ】                      |  |                            |                            |
| 【ハ. 氏名】                           |  |                            |                            |
| 【ニ. 勤務先】                          |  |                            |                            |
| （ ） 建築士事務所                        |  | （ ） 知事登録第                  |                            |
| 【ホ. 郵便番号】                         |  | 号                          |                            |
| 【ヘ. 所在地】                          |  |                            |                            |
| 【ト. 電話番号】                         |  |                            |                            |
| 【4. 報告対象建築物】                      |  |                            |                            |
| 【イ. 所在地】                          |  |                            |                            |
| 【ロ. 名称のフリガナ】                      |  |                            |                            |
| 【ハ. 名称】                           |  |                            |                            |
| 【ハ. 完了検査に要した図書】                   |  | <input type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 |
| 【ニ. 検査済証】                         |  | <input type="checkbox"/> 有 | <input type="checkbox"/> 無 |

# 6 受付管理票（任意）

**記入例**

## 受付管理票

鳥取県

**29**  
建築物

網掛け太枠内を全て記入し、報告書とともに必ず持参してください。

|      |       |         |              |
|------|-------|---------|--------------|
| 用途   | 集会場   | 報告書持参者名 |              |
|      |       | 会社      | 株式会社 ○○      |
| 建築物名 | ○○ホール | 氏名      | ○○ △△        |
|      |       | 電話      | 085X-XX-XXXX |

■チェック項目■

建物の棟名称まで記入。

会社の代表者名ではなく、報告書の持参者を記入してください。

①最新の利用用途・面積等が定期報告の対象要件に該当することを確認しましたか？

②必要な書類は全て揃っていますか？（※）

③改善すべき指摘事項があった場合、改善予定について記述はありますか？

※ 必要書類（概要書以外は2部必要です。）

- 概要書
- 報告書
- 調査結果表
- 写真（要是正の指摘がある場合）
- 添付図面（付近見取図、配置図、各階平面図）

提出書類を確認し、チェックしてください。  
（注）この項目に不備がある場合、報告書を受領できませんので、必ず御確認ください。

■確認事項■

外壁仕上げ材等の調査について、チェックしてください。

① 外装仕上げ材等について

1) 湿式のタイル、モルタル塗り等の外壁がある(調査結果表2(11)に該当)。  はい  いいえ

2) 1)に該当し、今回の定期報告調査時に全面打診等を実施した。  はい  いいえ

3) 2)がいいえの場合、その理由。

全面打診等実施または竣工から10年以内 （ 実施  竣工） 時期（H28年10月）

安全対策を実施 その他の理由（

※ 外壁仕上げ材等の調査についての詳細は、作成の手引きを

防火設備、小荷物昇降機について、チェックしてください。

② 防火設備について 随時閉鎖式の防火設備※又はドレンチャーがある  はい  いいえ

※防火戸、防火シャッター、防火スクリーン等

③ 小荷物専用昇降機について 定期報告対象となる小荷物専用昇降機がある  はい  いいえ

※全ての出し入れ口の高さが50cm以上のものは対象外。

※欄は事務処理欄ですので何も記入しないでください。

※受付

○その他の注意事項○

- 受付管理票は建築物ごと（報告書ごと）に作成してください。
- 受付管理票は正本に添付してください。
- 網掛け太枠内以外は記入しないでください。

担当 /

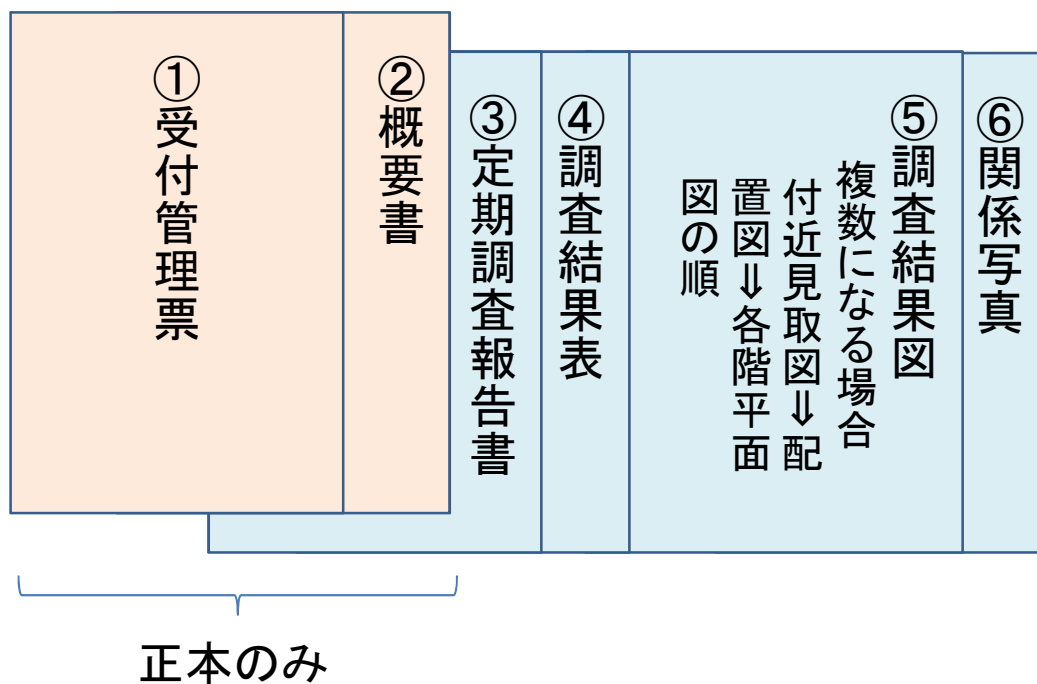
※副本返却

返却日 平成 年 月 日 受領者氏名

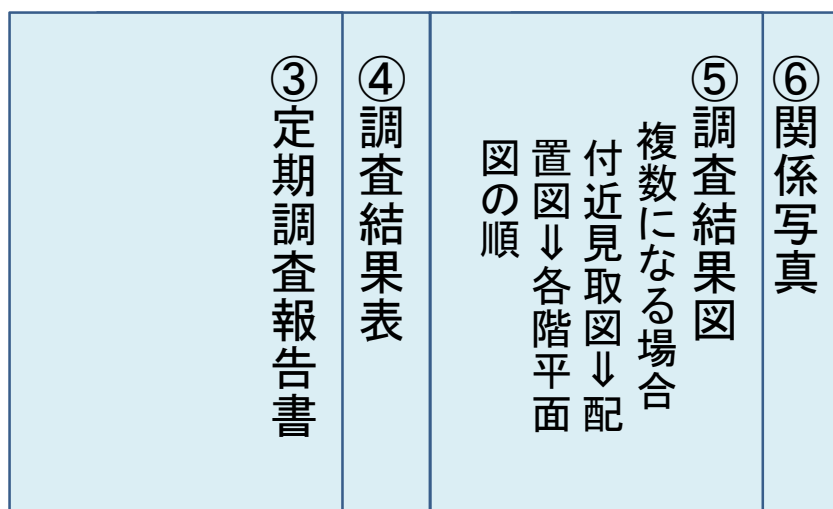


## 7 提出書類の綴り方

### (1) 正本1部



### (2) 副本1部





|                    |  |                          |
|--------------------|--|--------------------------|
| <b>4 関係写真</b>      |  | チェック                     |
|                    | 「既存不適格」 <u>以外</u> の「要是正」の指摘に関する写真が、すべて添付されていますか？ | <input type="checkbox"/> |
| <b>5 定期調査報告概要書</b> |  | チェック                     |
| (共通事項)             | 「定期調査報告書」の該当欄がもれなく、相違なく転記されていますか？                | <input type="checkbox"/> |
|                    | 報告者印や訂正印等の押印はありませんか？（ <u>押印はしない</u> でください。）      | <input type="checkbox"/> |

| 《チェック例 報告書 第一面・第三面 イ. 指摘の内容》  |  |  |   |  |
|---|--|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要是正の指摘あり</li> <li>・ 要是正と既存不適格の両方の指摘あり</li> </ul> | <table border="1"> <tr> <td>イ. 指摘の内容</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input type="checkbox"/> 既存不適格 )</td> <td><input type="checkbox"/> 指摘なし</td> </tr> </table>            | イ. 指摘の内容                                 | <input checked="" type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input type="checkbox"/> 既存不適格 )            | <input type="checkbox"/> 指摘なし            |
| イ. 指摘の内容  | <input checked="" type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input type="checkbox"/> 既存不適格 )   | <input type="checkbox"/> 指摘なし            |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存不適格の指摘のみ</li> </ul>                            | <table border="1"> <tr> <td>イ. 指摘の内容</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input checked="" type="checkbox"/> 既存不適格 )</td> <td><input type="checkbox"/> 指摘なし</td> </tr> </table> | イ. 指摘の内容                                 | <input checked="" type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input checked="" type="checkbox"/> 既存不適格 ) | <input type="checkbox"/> 指摘なし            |
| イ. 指摘の内容  | <input checked="" type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input checked="" type="checkbox"/> 既存不適格 )  | <input type="checkbox"/> 指摘なし            |   |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指摘なし</li> </ul>                                  | <table border="1"> <tr> <td>イ. 指摘の内容</td> <td><input type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input type="checkbox"/> 既存不適格 )</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 指摘なし</td> </tr> </table>            | イ. 指摘の内容                                 | <input type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input type="checkbox"/> 既存不適格 )                       | <input checked="" type="checkbox"/> 指摘なし |
| イ. 指摘の内容  | <input type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input type="checkbox"/> 既存不適格 )  | <input checked="" type="checkbox"/> 指摘なし |   |  |

| 《判定例 調査結果表》 |              |          |              |          |              |                     |
|-------------|--------------|----------|--------------|----------|--------------|---------------------|
| 指摘なし        |              | 要是正      |              | 既存不適格    |              |                     |
| 調査結果        |              | 調査結果     |              | 調査結果     |              | 担当<br>調査<br>者<br>番号 |
| 指摘<br>なし    | 要是正          | 指摘<br>なし | 要是正          | 指摘<br>なし | 要是正          |                     |
|             | 既 存<br>不 適 格 |          | 既 存<br>不 適 格 |          | 既 存<br>不 適 格 |                     |
| ○           |              | ○        |              | ○        | ○            |                     |

# 1 定期検査報告書（第36号の8様式）

第三十六号の八様式（第六条関係）（A4）  
 定期検査報告書  
 （防火設備）  
 （第一面）

建築基準法第12条第3項の規定により、定期検査の結果  
 載の事項は事実に相違ありません。  
 特定行政庁 様

・正本副本に両方に押印  
 ・法人の場合法人印を押印する

平成 年 月 日

報告者氏名



検査者氏名



- 【1. 所有者】  
 【イ. 氏名のフリガナ】  
 【ロ. 氏名】  
 【ハ. 郵便番号】  
 【ニ. 住所】  
 【ホ. 電話番号】

代表となる検査員の指名を記入（個人印）  
 自署で行う場合は押印を省略可

- ・所有者と管理者が同じ場合、【2. 管理者】欄に「同上」、「所有者と同じ」として記入を省略可
- ・複数の場合は別紙に記載

- 【2. 管理者】  
 【イ. 氏名のフリガナ】  
 【ロ. 氏名】  
 【ハ. 郵便番号】  
 【ニ. 住所】  
 【ホ. 電話番号】

- 【3. 報告対象建築物】  
 【イ. 所在地】  
 【ロ. 名称のフリガナ】  
 【ハ. 名称】  
 【ニ. 用途】

面積が大きい順

- 【4. 検査による指摘の概要】  
 要是正の指摘あり（ 既存不適格）  指摘なし

既存不適格以外の要是正が1つでもあれば  
 チェックしない

|      |      |        |
|------|------|--------|
| ※受付欄 | ※特記欄 | ※整理番号欄 |
|------|------|--------|

## 検査対象

（建築基準法施行令第16条の3第2項，H28国土交通省告示第240号）  
 ○随時閉鎖又は作動できる防火設備（防火ダンパーを除く）

防火設備の状況等

【1. 建築物の概要】

【イ. 階数】 地上 階 地下 階  
【ロ. 建築面積】 m<sup>2</sup>  
【ハ. 延べ面積】 m<sup>2</sup>

【2. 確認済証交付年月日等】

検査対象設備に関する直前の  
確認・検査済証の情報を記入

【イ. 確認済証交付年月日】 昭和・平成 年 月 日  
【ロ. 確認済証交付者】  建築主事  指定確認検査機関 ( )  
【ハ. 検査済証交付年月日】 昭和・平成 年 月 日 第 号  
【ニ. 検査済証交付者】  建築主事  指定確認検査機関 ( )

【3. 検査日等】

イ 今回の検査が終了した年月  
日を記入(全ての検査が報告日  
の3ヶ月以内)  
ロ 初回の場合、未実施に☑

【イ. 今回の検査】 平成 年 月 日(実)  
【ロ. 前回の検査】  実施 (平成 年 月 日(報  
【ハ. 前回の検査に関する書類の写し】  有  無

【4. 防火設備の検査者】  
(代表となる検査者)

当該建築物の調査を行ったすべての調査者について記入。3  
名以上の場合、【8. 備考】に記入

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
防火設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

建築士の資格で調査をする場合は、建築士法第23条の定め  
により建築士事務所の登録が必要です

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

法人の場合、勤務先について記入。法人でない場合、調査者の  
住所等を記入

(その他の検査者)

【イ. 資格】 ( ) 建築士 ( ) 登録第 号  
防火設備検査員 第 号

【ロ. 氏名のフリガナ】

【ハ. 氏名】

【ニ. 勤務先】

( ) 建築士事務所 ( ) 知事登録第 号

【ホ. 郵便番号】

【ヘ. 所在地】

【ト. 電話番号】

【5. 防火設備の概要】

【イ. 避難安全検証法等の適用】

階避難安全検証法 (      階)     全館避難安全検証法

その他 (      )

【ロ. 防火設備】

防火扉 (      枚)       防火シャッター (      枚)

耐火クロススクリーン (      枚)  ドレンチャー (      台)

その他 (      台)

検査対象の防火設備についてチェック  
※枚数等については 注意事項の「3第二面関係」⑫を参照

既存不適格以外の要是正  
が1つでもあればチェック  
しない

【6. 防火設備の検査の状況】

【イ. 指摘の内容】     要是正の指摘あり (  既存不適格)     指摘なし

【ロ. 指摘の概要】

【ハ. 改善予定の有無】  有 (平成      年      月に)     無

要是正の指摘事項を記入  
(既存不適格の内容は記入不要)  
※区画の概要も併せて記入

【7. 防火設備の不具合の発生状況】

【イ. 不具合】     有     無

【ロ. 不具合記録】  有     無

【ハ. 改善の状況】  実施済     改善予定 (平成      年      月に改善予定)     予定なし

改善予定年月のうち、最も早いものを記入  
改善済の場合はその年月を記入

【8. 備考】

各欄で掲げられている項目以外で特に報告すべき事項を記入  
(記入欄が不足する場合は別紙に必要な事項を記入し添付)  
(例)・今回の要是正項目で一部改善した項目

防火設備の不具合をヒアリング等により把握する(今回の検査の指摘事項ではない)

⑫ 5欄の「ロ」は、検査対象の防火設備について、チェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、防火扉、防火シャッター、耐火クロススクリーンについては、個々の扉又はカーテン部ごとにその枚数を計上し、その合計を記入してください。ドレンチャーについては、散水ヘッドの合計の個数を記入してください。「その他」の場合は具体的な内容と台数を記入してください。

第三面は、防火設備に係る不具合のうち、第二面 各設備の検査状況において指摘されるもの以外のものについて、ヒアリング等により把握している場合のみ提出

(第三面)

防火設備に係る不具合の状況

| 不具合を把握した年月      | 不具合の概要                                 | 考えられる原因  | 改善（予定）年月   | 改善措置の概要等   |
|-----------------|--|--|--|--|
| 当該不具合を把握した年月を記入 | 不具合の箇所を特定した上で、当該不具合の具体的内容を記入（区画の概要も記載） | 当該不具合が生じた原因として主として考えられるものを記入（原因が不明な場合は「不明」と記入） | <ul style="list-style-type: none"> <li>・改善実施済<br/>→実施年月を記入</li> <li>・改善予定あり<br/>→予定年月を記入</li> <li>・改善予定なし<br/>→「－」を記入</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>改善実施済み又は改善予定あり<br/>→具体的措置の概要を記入</li> <li>改善予定なし<br/>→その理由を記入</li> </ul> |
|                 |  |  |  |  |
|                 |  |  |  |  |

今回の検査の指摘事項や、既存不適格の内容を記入する様式ではありません  
 第三面に記入した場合は、第二面 防火設備の不具合の発生状況にも反映させる



## 注意事項についての書類は添付不要

(注意)

### 1. 各面共通関係

- ① ※印のある欄は記入しないでください。
- ② 数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。
- ③ 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入し添えてください。

### 2. 第一面関係

- ① 報告者又は検査者の氏名の記載を自署で行う場合においては、押印を省略することができます。
- ② 検査者が2人以上のときは、代表となる検査者を検査者氏名欄に記入してください。
- ③ 1欄及び2欄は、所有者又は管理者が法人のときは、「ロ」はそれぞれ法人の名称及び代表者氏名を、「ニ」はそれぞれ法人の所在地を記入してください。
- ④ 第二面の6欄の「イ」において「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れた場合においては、4欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第二面の6欄の「イ」において、「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れたときは、併せて4欄の「イ」の「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

### 3. 第二面関係

- ① この書類は、建築物ごとに、防火設備の概要及び当該防火設備の構造方法に係る検査結果について作成してください。
- ② 2欄の「イ」及び「ロ」は、検査対象の防火設備を有する建築物に関する直前の確認について、「ハ」及び「ニ」は、検査対象の防火設備を有する建築物に関する直前の完了検査について、それぞれ記入してください。
- ③ 2欄の「ロ」及び「ニ」は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れ、「指定確認検査機関」の場合には、併せてその名称を記入してください。
- ④ 3欄の「イ」は、検査が終了した年月日を記入し、「ロ」は、検査対象の防火設備に関する直前の報告について記入して下さい。
- ⑤ 3欄の「ロ」は、報告の対象となっていない場合には「未実施」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑥ 3欄の「ハ」は、前回の定期検査の結果を記録した書類の写しの保存の有無について記入してください。
- ⑦ 4欄は、代表となる検査者並びに検査に係る防火設備に係る全ての検査者について記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ⑧ 4欄の「イ」は、検査者の有する資格について記入してください。検査者が防火設備検査員である場合は、防火設備検査員資格者証の交付番号を「防火設備検査員」の番号欄に記入してください。
- ⑨ 4欄の「ニ」は、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤務先について記入し、勤務先が建築士事務所の場合は、事務所登録番号を併せて記入してください。
- ⑩ 4欄の「ホ」から「ト」までは、検査者が法人に勤務している場合は、検査者の勤



## 注意事項についての書類は添付不要

務先について記入し、検査者が法人に勤務していない場合は検査者の住所について記入してください。

- ⑪ 5 欄の「イ」は、建築基準法施行令第 129 条第 3 項に規定する階避難安全検証法により階避難安全性能が確かめられた建築物のときは「階避難安全検証法」のチェックボックスに、同令第 129 条の 2 第 3 項に規定する全館避難安全検証法により全館避難安全性能が確かめられた建築物のときは「全館避難安全検証法」のチェックボックスに、それぞれ「レ」マークを入れ、「階避難安全検証法」の場合には、併せて階避難安全性能を確かめた階を記入してください。建築基準法第 38 条（同法第 67 条の 2、第 67 条の 4 及び第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定による特殊構造方法等認定、同法第 68 条の 25 第 1 項の規定による構造方法等の認定又は建築基準法の一部を改正する法律（平成 10 年法律第 100 号）による改正前の建築基準法第 38 条の規定による認定を受けている建築物のうち、当該適用について特に報告が必要なものについては「その他」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、その概要を記入してください。
- ⑫ 5 欄の「ロ」は、検査対象の防火設備について、チェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、防火扉、防火シャッター、耐火クロススクリーンについては、個々の扉又はカーテン部ごとにその枚数を計上し、その合計を記入してください。ドレンチャーについては、散水ヘッドの合計の個数を記入してください。「その他」の場合は具体的な内容と台数を記入してください。
- ⑬ 6 欄の「イ」は、検査結果において、是正が必要と認められるときは「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該指摘された箇所の全てに建築基準法第 3 条第 2 項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは併せて「既存不適格」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑭ 6 欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れたとき（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）は、「ロ」に指摘の概要を記入してください。指摘の概要を記入する場合にあっては、当該防火設備が設置されている区画の概要を明記してください。
- ⑮ 6 欄の「イ」の「要是正の指摘あり」のチェックボックスに「レ」マークを入れ（「既存不適格」のチェックボックスに「レ」を入れたときを除く。）、当該指摘を受けた項目について改善予定があるときは「ハ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入してください。改善予定がないときは「ハ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑯ 前回検査時以降に把握した火災時の防火設備不作動等機器の故障、異常動作、損傷、腐食その他の劣化に起因するもの（以下「不具合」という。）について第三面の「不具合の概要」欄に記入したときは、7 欄の「イ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、当該不具合について記録が有るときは 7 欄の「ロ」の「有」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、記録が無いときは 7 欄の「ロ」の「無」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。また、第三面に記入された不具合のうち当該不具合を受けた改善を既に実施しているものがあり、かつ、改善を行う予定があるものがない場合には 7 欄の「ハ」の「実施済」のチェックボックスに「レ」マー

## 注意事項についての書類は添付不要

クを入れ、第三面に記入された不具合のうち改善を行う予定があるものがある場合には7欄の「改善予定」のチェックボックスに「レ」マークを入れ、併せて改善予定年月を記入し、改善の予定がない場合には7欄の「予定なし」のチェックボックスに「レ」マークを入れてください。

- ⑩ 各欄に掲げられている項目以外で特に報告すべき事項は、8欄又は別紙に記載して添えてください。

### 4. 第三面関係

- ① 第三面は、前回検査時以降に把握した防火設備に係る不具合のうち第二面の6欄において指摘されるもの以外のものについて、把握できる範囲において記入してください。前回検査時以降不具合を把握していない場合は、第三面を省略することができます。
- ② 「不具合を把握した年月」欄は、当該不具合を把握した年月を記入してください。
- ③ 「不具合の概要」欄は、当該不具合の箇所を特定した上で、当該不具合の具体的な内容を記入してください。不具合の概要を記入する場合にあっては、当該防火設備が設置されている区画の概要を明記してください。
- ④ 「考えられる原因」欄は、当該不具合が生じた原因として主として考えられるものを記入してください。ただし、当該不具合が生じた原因が不明な場合は「不明」と記入してください。
- ⑤ 「改善（予定）年月」欄は、既に改善を実施している場合には実施年月を、改善を行う予定がある場合には改善予定年月を記入し、改善を行う予定がない場合には「-」を記入してください。
- ⑥ 「改善措置の概要等」欄は、既に改善を実施している場合又は改善を行う予定がある場合に、具体的措置の概要を記入してください。改善を行う予定がない場合には、その理由を記入してください。

## 2 検査結果表（別記第1号～第4号）

別記第一号（A4）

検査対象設備の検査結果表のみ提出

検査結果表  
（防火扉）

検査者が2人以上であれば記入

| 当該検査に関与した検査者 | 氏名       |               | 検査者番号 |
|--------------|----------|---------------|-------|
|              | 代表となる検査者 | 特建 一郎         |       |
| その他の検査者      | 調査 太郎    | 当該防火設備の検査者を記入 | 2     |

| 番号   | 検査項目      | 検査事項               | 検査結果 |                     | 担当検査者番号 |
|------|-----------|--------------------|------|---------------------|---------|
|      |           |                    | 指摘なし | 要是正<br>既 存<br>不 適 格 |         |
| (1)  | 防火扉       | 設置場所の周囲状況          |      |                     |         |
| (2)  |           | 扉、枠及び金物            |      |                     |         |
| (3)  |           | 扉の取付けの状況           |      |                     |         |
| (4)  |           | 扉、枠及び金物の劣化及び損傷の状況  |      |                     |         |
| (5)  |           | 危険防止装置             |      |                     |         |
| (6)  | 連動機構      | 検知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器 |      |                     |         |
| (7)  |           | 設置位置               |      |                     |         |
| (8)  |           | 感知の状況              |      |                     |         |
| (9)  |           | 温度ヒューズ装置           |      |                     |         |
| (10) |           | 設置の状況              |      |                     |         |
| (11) |           | 連動制御器              |      |                     |         |
| (12) |           | スイッチ類及び表示灯の状況      |      |                     |         |
| (13) |           | 結線接続の状況            |      |                     |         |
| (14) |           | 接地の状況              |      |                     |         |
| (15) |           | 子備電源への切り替えの状況      |      |                     |         |
| (16) | 連動機構用予備電源 | 劣化及び損傷の状況          |      |                     | 1       |
| (17) |           | 容量の状況              |      |                     | 1       |
| (18) | 自動閉鎖装置    | 設置の状況              |      |                     |         |
| (19) |           | 再ロック防止機構の作動の状況     |      |                     |         |
| (20) | 総合的な作動の状況 | 防火扉の閉鎖の状況          |      |                     | 1・2     |
| (21) |           | 防火区画の形成の状況         |      |                     |         |

上記以外の検査項目

要是正の場合は特記事項に指摘内容を記入

特記事項

| 番号 | 検査項目 | 指摘の具体的内容等 | 改善の具体的内容等 | 改善(予定)年月 |
|----|------|-----------|-----------|----------|
|    |      |           |           |          |
|    |      |           |           |          |
|    |      |           |           |          |
|    |      |           |           |          |
|    |      |           |           |          |

要是正があれば記入し、別添2様式に従い撮影した写真を添付する（別添1様式に撮影した写真の位置を明記すること）  
要是正（既存不適格）の場合は、改善（予定）年月を除く項目について記入し、必要に応じ別添2様式に従い写真を添付する  
※改善(予定)年月が、報告書第二面【6. 防火設備の検査の状況】【8. 改善予定の有無】と不整合がないこと

改善した場合は改善が完了した年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は、改善予定年月を（）付で記入してください。

## 添付不要

### (注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適合」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑧に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑧に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火扉の設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第二号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適合の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。



検査対象設備の検査結果表のみ提出

検査結果表  
(防火シャッター)

|              |          |             |               |       |
|--------------|----------|-------------|---------------|-------|
| 当該検査に関与した検査者 | 代表となる検査者 | 氏名<br>特記 一郎 | 当該防火設備の検査者を記入 | 検査者番号 |
|              | その他の検査者  |             |               |       |

| 番号   | 検査項目      | 検査事項                | 検査結果                                      |     |       | 担当検査者番号 |  |
|------|-----------|---------------------|---|-----|-------|---------|--|
|      |           |                     | 指摘なし                                      | 要是正 | 既存不適合 |         |  |
| (1)  | 防火シャッター   | 設置場所の周囲状況           |   |     |       |         |  |
| (2)  |           | 駆動装置                | 閉鎖の障害となる物品の放置の状況                          |     |       |         |  |
| (3)  |           |                     | 軸受け部のブラケット、巻取りシャフト及び開閉機の取付けの状況※           |     |       |         |  |
| (4)  |           |                     | スプロケットの設置の状況※                             |     |       |         |  |
| (5)  |           |                     | 軸受け部のブラケット、ベアリング及びスプロケット又はロープ車の劣化及び損傷の状況※ |     |       |         |  |
| (6)  |           | カーテン部               | ローラチェーン又はワイヤーロープの劣化及び損傷の状況                |     |       |         |  |
| (7)  |           |                     | スラット及び座板の劣化等の状況                           |     |       |         |  |
| (8)  |           | ケース                 | 吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況                        |     |       |         |  |
| (9)  |           |                     | 劣化及び損傷の状況                                 |     |       |         |  |
| (10) |           | 危険防止装置              | まぐさ及びガイドレール                               |     |       |         |  |
| (11) |           |                     | 危険防止用連動中継器の配線の状況                          |     |       |         |  |
| (12) |           |                     | 危険防止装置用予備電源の劣化及び配線の状況                     |     |       |         |  |
| (13) |           |                     | 危険防止装置用予備電源の容量の状況                         |     |       |         |  |
| (14) |           |                     | 座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況                      |     |       |         |  |
| (15) | 連動機構      | 煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器 | 設置位置                                      |     |       |         |  |
| (16) |           |                     | 感知の状況                                     |     |       |         |  |
| (17) |           | 温度ヒューズ装置            | 設置の状況                                     |     |       |         |  |
| (18) |           | 連動制御器               | スイッチ箱及び表示灯の状況                             |     |       |         |  |
| (19) |           |                     | 結線接続の状況                                   |     |       |         |  |
| (20) |           |                     | 接地の状況                                     |     |       |         |  |
| (21) |           |                     | 予備電源への切り替えの状況                             |     |       |         |  |
| (22) |           | 連動機構用予備電源           | 劣化及び損傷の状況                                 |     |       |         |  |
| (23) |           |                     | 容量の状況                                     |     |       |         |  |
| (24) |           | 自動閉鎖装置              | 設置の状況                                     |     |       |         |  |
| (25) | 手動閉鎖装置    | 設置の状況               |   |     |       |         |  |
| (26) | 総合的な作動の状況 | 防火シャッターの開鎖の状況       |   |     |       |         |  |
| (27) |           | 防火区画の形成の状況          |   |     |       |         |  |

検査項目に該当しない場合は抹消セルの中に「-」又は「/」でも可

要是正の場合は特記事項に指摘内容を記入

上記以外の検査項目

|    |      |      |      |         |
|----|------|------|------|---------|
| 番号 | 検査項目 | 検査事項 | 検査結果 | 担当検査者番号 |
|    |      |      |      |         |

特記事項

| 番号 | 検査項目  | 指摘の具体的内容等 | 改善の具体的内容等 | 改善(予定)年月 |
|----|---|-----------|-----------|----------|
|    | 要是正があれば記入し、別添2様式に従い撮影した写真を添付する（別添1様式に撮影した写真の位置を明記すること）<br>要是正（既存不適合）の場合は、改善（予定）年月を除く項目について記入し、必要に応じ別添2様式に従い写真を添付する<br>※改善(予定)年月が、報告書第二面【6. 防火設備の検査の状況】【八. 改善予定の有無】と不整合がないこと |           |           |          |
|    |   |           |           |          |

改善した場合は改善が完了した年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は、改善予定年月を（）付で記入してください。

## 添付不要

### (注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ ※欄は、日常的に開閉するものについてのみ記入してください。
- ⑪ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑩に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑩に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑫ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっては特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑬ 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、防火シャッターの設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第三号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑭ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

検査結果表  
(耐火クロススクリーン)

|              |          |    |       |
|--------------|----------|----|-------|
| 当該検査に関与した検査者 | 代表となる検査者 | 氏名 | 検査者番号 |
|              | その他の検査者  |    |       |

| 番号   | 検査項目       | 検査事項                 | 検査結果                |                       | 担当検査者番号 |  |  |
|------|------------|----------------------|---------------------|-----------------------|---------|--|--|
|      |            |                      | 指摘なし                | 要是正<br>既 存<br>不 適 格   |         |  |  |
| (1)  | 耐火クロススクリーン | 設置場所の周囲状況            |                     |                       |         |  |  |
| (2)  |            | 閉鎖の障害となる物品の放置の状況     |                     |                       |         |  |  |
| (3)  |            | 駆動装置                 | ローラチェーンの劣化及び損傷の状況   |                       |         |  |  |
| (4)  |            | カーテン部                | 耐火クロス及び座板の劣化及び損傷の状況 |                       |         |  |  |
| (5)  |            |                      | 吊り元の劣化及び損傷並びに固定の状況  |                       |         |  |  |
| (6)  |            | ケース                  | 劣化及び損傷の状況           |                       |         |  |  |
| (7)  |            | まぐさ及びガイドレール          | 劣化及び損傷の状況           |                       |         |  |  |
| (8)  |            |                      | 危険防止装置              | 危険防止用連動中継器の配線の状況      |         |  |  |
| (9)  |            |                      |                     | 危険防止装置用予備電源の劣化及び損傷の状況 |         |  |  |
| (10) |            |                      |                     | 危険防止装置用予備電源の容量の状況     |         |  |  |
| (11) |            | 座板感知部の劣化及び損傷並びに作動の状況 |                     |                       |         |  |  |
| (12) | 連動機構       | 煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器  | 設置位置                |                       |         |  |  |
| (13) |            | 感知の状況                |                     |                       |         |  |  |
| (14) |            | 運動制御器                | スイッチ類及び表示灯の状況       |                       |         |  |  |
| (15) |            |                      | 結線接続の状況             |                       |         |  |  |
| (16) |            |                      | 接地の状況               |                       |         |  |  |
| (17) |            | 連動機構用予備電源            | 予備電源への切り替えの状況       |                       |         |  |  |
| (18) |            |                      | 劣化及び損傷の状況           |                       |         |  |  |
| (19) |            |                      | 容量の状況               |                       |         |  |  |
| (20) |            |                      | 自動閉鎖装置              | 設置の状況                 |         |  |  |
| (21) |            | 手動閉鎖装置               | 設置の状況               |                       |         |  |  |
| (22) | 総合的な作動の状況  | 耐火クロススクリーンの閉鎖の状況     |                     |                       |         |  |  |
| (23) |            | 防火区画の形成の状況           |                     |                       |         |  |  |

上記以外の検査項目

特記事項

| 番号 | 検査項目  | 指摘の具体的内容等 | 改善の具体的内容等 | 改善(予定)年月 |
|----|---|-----------|-----------|----------|
|    | 要是正があれば記入し、別添2様式に従い撮影した写真を添付する（別添1様式に撮影した写真の位置を明記すること）<br>要是正（既存不適格）の場合は、改善（予定）年月を除く項目について記入し、必要に応じ別添2様式に従い写真を添付する<br>※改善(予定)年月が、報告書第二面【6. 防火設備の検査の状況】【八. 改善予定の有無】と不整合がないこと |           |           |          |

改善した場合は改善が完了した年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は、改善予定年月を（）付で記入してください。



## 添付不要

### (注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表（い）欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表（い）欄に掲げる検査項目について同表（ろ）欄に掲げる検査事項のいずれかが同表（に）欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合で、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑧に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑧に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善（予定）年月」欄に当該年月を（ ）書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、耐火クロススクリーンの設置されている箇所及び指摘（特記すべき事項を含む）のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第二号又は別記第四号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目（既存不適格の場合を除く。）については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。



検査結果表

（ドレンチャーその他の水幕を形成する防火設備）

|              |          |    |       |
|--------------|----------|----|-------|
| 当該検査に関与した検査者 | 代表となる検査者 | 氏名 | 検査者番号 |
|              | その他の検査者  |    |       |

| 番号   | 検査項目      | 検査事項                | 検査結果                       |     |       | 担当検査者番号 |
|------|-----------|---------------------|----------------------------|-----|-------|---------|
|      |           |                     | 指摘なし                       | 要是正 | 既存不適格 |         |
| (1)  | ドレンチャー等   | 設置場所の周囲状況           | 作動の障害となる物品の放置の状況           |     |       |         |
| (2)  |           | 散水ヘッド               | 散水ヘッドの設置の状況                |     |       |         |
| (3)  |           | 圍閉弁                 | 圍閉弁の状況                     |     |       |         |
| (4)  |           | 排水設備                | 排水の状況                      |     |       |         |
| (5)  |           | 水源                  | 貯水槽の劣化及び損傷、水質並びに水量の状況      |     |       |         |
| (6)  |           |                     | 給水装置の状況                    |     |       |         |
| (7)  |           | 加圧送水装置              | ポンプ制御盤のスイッチ類及び表示灯の状況       |     |       |         |
| (8)  |           |                     | 結線接続の状況                    |     |       |         |
| (9)  |           |                     | 接地の状況                      |     |       |         |
| (10) |           |                     | ポンプ及び電動機の状況                |     |       |         |
| (11) |           |                     | 加圧送水装置用予備電源への切り替えの状況       |     |       |         |
| (12) |           |                     | 加圧送水装置用予備電源の劣化及び損傷の状況      |     |       |         |
| (13) |           |                     | 加圧送水装置用予備電源の容量の状況          |     |       |         |
| (14) |           |                     | 圧力計、呼水槽、起動用圧力スイッチ等の付属装置の状況 |     |       |         |
| (15) | 連動機構      | 煙感知器、熱煙複合式感知器及び熱感知器 | 設置位置<br>感知の状況              |     |       |         |
| (16) |           | 制御盤                 | スイッチ類及び表示灯の状況              |     |       |         |
| (17) |           |                     | 結線接続の状況                    |     |       |         |
| (18) |           |                     | 接地の状況                      |     |       |         |
| (19) | 連動機構用予備電源 | 予備電源への切り替えの状況       |                            |     |       |         |
| (20) |           | 劣化及び損傷の状況           |                            |     |       |         |
| (21) |           | 容量の状況               |                            |     |       |         |
| (22) |           | 設置の状況               |                            |     |       |         |
| (23) | 自動作動装置    | 設置の状況               |                            |     |       |         |
| (24) | 手動作動装置    | 設置の状況               |                            |     |       |         |
| (25) | 総合的な作動の状況 | ドレンチャー等の作動の状況       |                            |     |       |         |
| (26) |           | 防火区画の形成の状況          |                            |     |       |         |

|           |  |  |  |  |  |  |
|-----------|--|--|--|--|--|--|
| 上記以外の検査項目 |  |  |  |  |  |  |
|           |  |  |  |  |  |  |
|           |  |  |  |  |  |  |

| 特記事項 |   |           |           |          |
|------|---|-----------|-----------|----------|
| 番号   | 検査項目  | 指摘の具体的内容等 | 改善の具体的内容等 | 改善(予定)年月 |
|      | 要是正があれば記入し、別添2様式に従い撮影した写真を添付する（別添1様式に撮影した写真の位置を明記すること）<br>要是正（既存不適格）の場合は、改善（予定）年月を除く項目について記入し、必要に応じ別添2様式に従い写真を添付する<br><br>※改善(予定)年月が、報告書第二面【6. 防火設備の検査の状況】【八. 改善予定の有無】と不整合がないこと |           |           |          |
|      |   |           |           |          |

改善した場合は改善が完了した年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は、改善予定年月を（）付て記入してください。

(注意)

- ① この書類は、建築物ごとに作成してください。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して添えてください。
- ③ 「当該検査に関与した検査者」欄は、建築基準法施行規則別記第36の8様式第二面4欄に記入した検査者について記入し、「検査者番号」欄に検査者を特定できる番号、記号等を記入してください。当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、その他の検査者欄は削除して構いません。
- ④ 該当しない検査項目がある場合は、当該項目の「番号」欄から「担当検査者番号」欄までを取消線で抹消してください。
- ⑤ 「検査結果」欄は、別表(イ)欄に掲げる各検査項目ごとに記入してください。
- ⑥ 「検査結果」欄のうち「要是正」欄は、別表(イ)欄に掲げる検査項目について同表(ろ)欄に掲げる検査事項のいずれかが同表(に)欄に掲げる判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ⑦ 「検査結果」欄のうち「指摘なし」欄は、⑥に該当しない場合に○印を記入してください。
- ⑧ 「既存不適格」欄は、「要是正」欄に○印を記入した場合、建築基準法第3条第2項の規定の適用を受けているものであることが確認されたときは、○印を記入してください。
- ⑨ 「担当検査者番号」欄は、「検査に関与した検査者」欄で記入した番号、記号等を記入してください。ただし、当該防火設備の検査を行った検査者が1人の場合は、記入しなくても構いません。
- ⑩ 「上記以外の検査項目」欄は、第1ただし書の規定により特定行政庁が検査項目を追加したときに、当該検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。また、第1第2項の規定により同項に規定する図書等に検査の方法が記載されている場合に、当該図書等に記載されている検査項目を追加し、⑤から⑨に準じて検査結果等を記入してください。なお、これらの項目がない場合は、この欄を削除して構いません。
- ⑪ 「特記事項」は、検査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する検査項目の番号、検査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入し、改善した場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を記入し、改善予定年月が明らかになっている場合は「改善(予定)年月」欄に当該年月を( )書きで記入してください。
- ⑫ 各階平面図を別添1の様式に従い添付し、ドレンチャージャーその他の水幕を形成する防火設備の設置されている箇所及び指摘(特記すべき事項を含む)のあった箇所を明記してください。なお、別添1の様式は別記第一号、別記第二号又は別記第三号の各々の別添1の様式に記載すべき事項を合わせて記載することとして構いません。
- ⑬ 要是正とされた検査項目(既存不適格の場合を除く。)については、要是正とされた部分を撮影した写真を別添2の様式に従い添付するとともに、撮影した写真の位置を別添1の様式に明記してください。

### 3 検査結果図（別添1様式）

本様式は省略できません

各階平面図を記載し、以下の事項を明記してください。

- 1 縮尺及び方位
- 2 各階の間取り及び各室の用途
- 3 検査の対象となる防火設備の設置されている箇所
  - ・ 防火扉，防火シャッター，耐火クロススクリーン，ドレンチャー
  - ・ 感知器，連動制御盤
  - ・ その他検査項目となっている機器
- 4 指摘のあった箇所（特記すべき事項を含む）
- 5 （要是正の指摘のあった場合）当該部分を撮影した写真の位置

#### 作成上の注意

1. 図面（検査結果図を除く。）のサイズは、原則A4、又はA3を折りA4としてください。
2. 既存図面を複写して使用する場合には、鮮明さが損なわれないように注意してください。（不鮮明な図面については、鮮明な図面に差し替えを求めることがあります。）
3. 建物の増築や間仕切り変更等の改修を行った場合は、必ず最新の図面を添付してください。
4. 各図面には、必ず図面名称（付近見取図，配置図）を記入する。

# 4 関係写真（別添2様式）

要是正のない場合、添付不要

別添2様式（A4）

建築物の定期調査報告の様式とは異なっています

## 関係写真

| 部位   | 番号                       | 検査項目                     | 検査結果                      |
|------|--------------------------|--------------------------|---------------------------|
|      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/>  |
| 写真貼付 | 検査結果表の「検査項目番号」と「検査項目」を転記 |                          | 特記事項                      |
|      |                          |                          | 「要是正以外の特記すべき事項」がある場合にチェック |
|      |                          |                          |                           |
|      |                          |                          |                           |
|      |                          |                          |                           |
|      |                          |                          |                           |
|      |                          |                          |                           |
|      |                          |                          |                           |
|      |                          |                          |                           |
|      |                          |                          |                           |

要是正の項目の写真を貼付  
要是正（既存不適格）の項目は必要に応じ写真を貼付

| 部位   | 番号                       | 検査項目                     | 検査結果                     |
|------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|
|      | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| 写真貼付 |                          |                          | 特記事項                     |
|      |                          |                          |                          |
|      |                          |                          |                          |
|      |                          |                          |                          |
|      |                          |                          |                          |
|      |                          |                          |                          |
|      |                          |                          |                          |
|      |                          |                          |                          |
|      |                          |                          |                          |
|      |                          |                          |                          |

(注意)

- ① この書類は、検査の結果で「要是正」とされた項目のうち、「既存不適格」ではない項目について作成してください。また、「既存不適格」及び「指摘なし」の項目についても、特記すべき事項があれば、必要に応じて作成してください。「要是正」の項目がない場合は、この書類は省略しても構いません。
- ② 記入欄が不足する場合は、枠を拡大し、行を追加して記入するか、別紙に必要な事項を記入して送ってください。

## 5 定期検査報告概要書（第36号の8様式）

- 定期検査報告概要書は、定期検査報告書の内容を転記するため、定期検査報告書を作成後に作成し、同様の内容となるよう転記してください。
- 概要書は閲覧に供しますので、訂正印による修正は行わないでください。

|  |  |
|--|--|
| 第三十六号の九様式（第六条、第六条の三、第十一条の四関係）（A4）  |  |
| 定期検査報告概要書<br>（防火設備）<br>（第一面）   |  |
| 【1. 所有者】   |  |
| 【イ. 氏名のフリガナ】   |  |
| 【ロ. 氏名】  |  |
| 【ハ. 郵便番号】  |  |
| 【ニ. 住所】  |  |
| 【2. 管理者】   |  |
| 【イ. 氏名のフリガナ】   |  |
| 【ロ. 氏名】  |  |
| 【ハ. 郵便番号】  |  |
| 【ニ. 住所】  |  |
| 【3. 報告対象建築物】   |  |
| 【イ. 所在地】   |  |
| 【ロ. 名称のフリガナ】   |  |
| 【ハ. 名称】  |  |
| 【ニ. 用途】  |  |
| 【4. 検査による指摘の概要】  |  |
| <input type="checkbox"/> 要是正の指摘あり（ <input type="checkbox"/> 既存不適格） <input type="checkbox"/> 指摘なし |  |
| 【5. 不具合の発生状況】  |  |
| 【イ. 不具合】   | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無  |
| 【ロ. 不具合記録】   | <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無  |
| 【ハ. 不具合の概要】  |  |
| 【ニ. 改善の状況】   | <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 改善予定（平成 年 月に改善予定）<br><input type="checkbox"/> 予定なし（理由： ） |
| 【ハ. 氏名】  |  |
| 【ニ. 勤務先】   | （ ） 建築士事務所 （ ） 知事登録第 号   |
| 【ホ. 郵便番号】  |  |
| 【ヘ. 所在地】   |  |
| 【ト. 電話番号】  |  |



# 6 受付管理票

記入例

## 受付管理票

30  
防火設備

建築物の棟名称まで記入してください。

全て 確認申請時の用途を記載

会社の代表者名ではなく、報告書の持参者を記入してください。

|      |            |                 |
|------|------------|-----------------|
| 用途   | 〇〇〇        | 報告書持参者名         |
| 建築物名 | XXXXXX XX棟 | 会社 XXXXXXXXXX   |
|      |            | 氏名 XX XX        |
|      |            | 電話 085X-XX-XXXX |

### ■チェック項目■

- ①最新の利用用途・面積等が定期報告の対象要件に該当することを確認しましたか？
- ②必要な書類は全て揃っていますか？（※）
- ③改善すべき指摘事項があった場合、改善予定について記述はありますか？

提出前にチェックしてください。

※ 必要書類（概要書以外は2部必要です。）

- ・ 概要書
- ・ 報告書
- ・ 検査結果表（別記第一号～第四号，該当する検査のみ）
- ・ 検査結果図（別添1様式）
- ・ 関係写真（別添2様式，要是正の指摘がない場合は省略できる）
- ・ 添付図面（付近見取図，配置図，明瞭なものとしてください。）

### ■確認事項

【防火扉】（17）、【防火シャッター】（27）【堅穴区画の総合的な作動

はい  いいえ

なるべく建物の報告周期内に全数確認できるように計画としてください。

平成30年度が初回のため前年度は記入不要。複数年で検査する場合は今回検査範囲の前回実施年を記載ください。

今回調査範囲

全数確認

1以上の部分を確認

3年で全数を網羅する複数年計画で確認【前年検査分】

※の欄は事務処理欄ですので記入しないでください。

※受付

【確認】 概要書 ・ 報告書 ・ 提出日 ・ 管理者 ・ 押印 ・ 検査日 ・ 登録 ・ 写真 ・ 図面等 ・ 既存不適格

#### その他の注意事項

- ・ 受付管理票は建築物ごと（報告書ごと）に作成してください。
- ・ 受付管理票は正本に添付してください。
- ・ 網掛け太枠内以外は記入しないでください。

担当 /

【備考】

※副本返却

※供覧

返却日

受領者氏名

入力

H 年 月 日

## 7 提出書類の綴り方

### (1) 正本 1部

|         |       |           |         |  |        |
|---------|-------|-----------|---------|--|--------|
| ① 受付管理票 | ② 概要書 | ③ 定期検査報告書 | ④ 検査結果表 | ⑤ 検査結果図<br>複数枚になる場合<br>付近見取図↓配置図↓<br>各階平面図の順 | ⑥ 関係写真 |
|---------|-------|-----------|---------|--|--------|

正本のみ

### (2) 副本 1部

|  |  |           |         |  |        |
|--|--|-----------|---------|--|--------|
|  |  | ③ 定期検査報告書 | ④ 検査結果表 | ⑤ 検査結果図<br>複数枚になる場合<br>付近見取図↓配置図↓<br>各階平面図の順 | ⑥ 関係写真 |
|--|--|-----------|---------|--|--------|





| 3 検査結果図     |   | チェック                     |
|-------------|---|--------------------------|
|             | 現状を確認できる、鮮明な図面となっていますか？                 | <input type="checkbox"/> |
|             | 必要な図面がすべてありますか？（配置図、各階平面図）              | <input type="checkbox"/> |
|             | 「既存不適格」を含む「要是正」の指摘があった箇所が全て明示されていますか？   | <input type="checkbox"/> |
|             | 写真を撮影した位置は正しいですか？                       | <input type="checkbox"/> |
| 4 関係写真      |   | チェック                     |
|             | 「既存不適格」以外の「要是正」の指摘に関する写真が、すべて添付されていますか？ | <input type="checkbox"/> |
| 5 定期検査報告概要書 |   | チェック                     |
| (共通事項)      | 「定期検査報告書」の該当欄がもれなく、相違なく転記されていますか？       | <input type="checkbox"/> |
|             | 報告者印や訂正印等の押印はありませんか？（押印はしないでください。）      | <input type="checkbox"/> |

| 《チェック例 報告書 第一面・第二面 指摘の内容》 |  |
|---------------------------|--|
| ・ 要是正の指摘あり                |  |
| ・ 要是正と既存不適格の両方の指摘あり       | イ. 指摘の内容 <input checked="" type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input type="checkbox"/> 既存不適格 ) <input type="checkbox"/> 指摘なし            |
| ・ 既存不適格の指摘のみ              | イ. 指摘の内容 <input checked="" type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input checked="" type="checkbox"/> 既存不適格 ) <input type="checkbox"/> 指摘なし |
| ・ 指摘なし                    | イ. 指摘の内容 <input type="checkbox"/> 是正の指摘あり ( <input type="checkbox"/> 既存不適格 ) <input checked="" type="checkbox"/> 指摘なし            |

| 《判定例 検査結果表》 |           |          |           |          |           |                     |
|-------------|-----------|----------|-----------|----------|-----------|---------------------|
| 指摘なし        |           | 要是正      |           | 既存不適格    |           |                     |
| 検査結果        |           | 検査結果     |           | 検査結果     |           | 担当<br>検査<br>者<br>番号 |
| 指摘<br>なし    | 要是正       | 指摘<br>なし | 要是正       | 指摘<br>なし | 要是正       |                     |
|             | 既存<br>不適格 |          | 既存<br>不適格 |          | 既存<br>不適格 |                     |
| ○           |           | ○        |           | ○        | ○         |                     |

## 参考資料 既存不適格

### 主な既存不適格について

| 内 容                      | 条文等                        | 基準が変わった時期      |
|--------------------------|----------------------------|----------------|
| 竪穴区画が形成されていない            | 施行令第112条第9項                | 昭和44年<br>5月1日  |
| 排煙設備がない                  | 施行令第126条の2                 | 昭和46年<br>1月1日  |
| 非常用照明がない                 | 施行令第126条の4,5               | 昭和46年<br>1月1日  |
| 非常用進入口がない                | 施行令第126条の6,7               | 昭和46年<br>1月1日  |
| 6階以上に居室がある場合に2以上の直通階段がない | 施行令第121条                   | 昭和49年<br>1月1日  |
| はめ殺し窓に硬化性シーリングが使用されている   | 告示第109号第3第4号の基準            | 昭和54年<br>4月1日  |
| 階段に手すりがない                | 施行令第25条                    | 平成12年<br>6月1日  |
| 昇降機の乗場扉に遮煙性能がない          | 昭和56年建告第1111号の廃止           | 平成14年<br>6月1日  |
| 耐震基準                     |                            | 昭和56年<br>6月1日  |
| 特定天井の構造方法                | 施行令第39条第3項,4項、平成25年告示第771号 | 平成26年<br>4月1日  |
| 防火戸に温度ヒューズを使用            | 施行令第112条                   | 昭和49年<br>1月    |
| 防火シャッターに危害防止機構がない        | 告示第2563号（改正告示第1392号）       | 平成17年<br>12月1日 |

## 参考資料 よく見られる指摘事項

### よく見られる指摘事項と対応する調査結果表の番号(建築物)

| 指摘の内容                              | 番号         |
|------------------------------------|------------|
| 階段や廊下に障害物があり、避難の支障となっている。          | 5(3),5(14) |
| 常時閉鎖式防火戸がくさび等で固定されているため、火災時に機能しない。 | 4(33)      |
| 排煙窓が物品等でふさがれているため、作動しない。           | 5(29)      |
| 排煙窓のオペレーターが物品等でかかれているため、操作できない。    | 5(29)      |
| 非常用照明が点灯しない。(特に球切れ、バッテリー型のバッテリー切れ) | 5(39)      |
| 敷地内通路や避難通路に扉や門が施錠され、避難の支障となっている。   | 1(3)       |
| 敷地内通路の幅が法令で必要とされる幅を確保できていない。       | 1(4)       |
| 確認済証、検査済証の番号、年月日が間違っている。           | 第二面【6】     |
| 前回報告日を特定行政庁の受付日ではなく、提出日としている。      | 第三面【1】     |
| 昇降機等の検査情報が未記入。                     | 第三面【1】     |